琵琶湖・森林・防災対策特別委員会　県外行政調査

１　調 査 日　　令和８年10月20日（火）～10月21日（水）

２　調査の概要

（１）10月20日（火）

〇サントリー天然水北アルプス信濃の森工場（長野県大町市）

サントリー天然水北アルプス信濃の森工場では、水源涵養活動、次世代環境教育や工場周辺流域での行政や地域と連携した取組が高く評価され、工場周辺流域の持続可能な水利用に関するＡｌｌｉａｎｃｅ ｆｏｒ Ｗａｔｅｒ Ｓｔｅｗａｒｄｓｈｉｐ認証において最高位のＰｌａｔｉｎｕｍを取得している。

本委員会では、「森・里・川・琵琶湖をつなぐ環境保全対策の推進について」を重点調査項目の一つとし、森林の水源涵養から琵琶湖に至るまで、流域全体の健全な水循環を守る活動等について調査を行うこととしている。

ついては、今後の委員会活動の参考とするため、同工場を訪問し、森林の水源涵養機能の向上および生態系保持のための取組について調査を行った。

」





（２）10 月 21 日（水）

〇ＡＬＳＯＫとやま四季防災館（富山県富山市）

ＡＬＳＯＫとやま四季防災館は、富山県民の防災知識を広げ、防災意識を高めることで、安全で安心な地域づくりに役立つことを目指して設置された施設であり、富山の四季をコンセプトにした展示や、地震体験・煙体験・風水害体験等の災害体験を通して、防災意識の高揚に取り組んでいる。

災害が激甚化・頻発化する近年において、本委員会の重点調査項目の一つである「県民とともに進める防災対策の推進」にあたっては、令和７年に制定された「滋賀県防災対策の推進に関する条例」の趣旨も踏まえ、県全体で防災に関する意識を高め、公助だけでなく自助、共助も併せ、一丸となって防災対策に取り組むことが重要となる。

ついては、今後の委員会活動の参考とするため、同館を訪問し、県民の防災意識向上にかかる取組について調査を行った。





〇富山県議会（富山県富山市）

富山県では、豊かで清らかな水資源を未来に残すため、「とやま 21 世紀水ビジョン」を策定し、豊かな水を生かし健全な水循環系の構築を目指すこと、地域に根ざした水文化・産業を継承し発展させること、未来を展望し地球規模の水問題に取り組むことを基本目標に掲げ、「富山県地下水採取に関する条例」の制定による地下水採取規制等の各種施策を展開している。

本委員会では、「森・里・川・琵琶湖をつなぐ環境保全対策の推進について」を重点調査項目の一つとし、本年度が中間評価年となる琵琶湖版ＳＤＧｓ「マザーレークゴールズ」の目標も踏まえ、琵琶湖を有する県として、水を巡る環境保全活動について調査を行うこととしている。

ついては、今後の委員会活動の参考とするため、同県を訪問し、健全な水循環の構築について調査を行った。



